

営農技術情報

一畑作(大豆③)一

令和元年 6月12日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～害虫の発生に注意しましょう～

1 中耕・培土

- ・ 土壌処理除草剤を散布したほ場では、効果持続期間（3週間～1ヶ月）を考慮した上で、中耕を開始しましょう。
- ・ 培土による不定根の発生は、は種後40日頃までが盛期ですので、適期を逃さないように作業を行ってください。
- ・ 本年は少雨と風の強い日が続き、根の切断による「葉焼け」が起きやすい状況です。中耕は日中の高温時を避け、早朝もしくは夕方の涼しい時間を見計らって施しましょう。
- ・ 2回目以降は、徐々に幅を狭め、深く爪を入れるようにしましょう。
- ・ 着蕾以降は落花を誘引するおそれがありますので、開花前（7月上旬）には終らせましょう。

2 病害虫防除

(1) アブラムシ類ほか

は種後から高温・少雨で推移しているため、アブラムシ等、害虫の発生が早まり、発生量も多くなるおそれがあります。

「クルーザーMAXX」、「クルーザーFS30」の効果持続期間は約1ヶ月間です。5月旬までには種したほ場では、効果が切れてくる時期ですので、害虫の発生に注意、発生が見られる場合は防除を行ってください。

【防除薬剤例】（登録内容は R1.6.10 現在）

| 対象害虫 | 薬剤名 | 系統 | 希釈倍率 | 使用時期 | 使用回数 |
|--------|-----------|--------|--------|-------|------|
| アブラムシ類 | エルサン乳剤 | 有機リン | 1,000倍 | 収穫7日前 | 2回以内 |
| | ゲットアウトWDG | ピレスロイド | 3,000倍 | 収穫7日前 | 3回以内 |

(2) 茎疫病

連作ほ場で発生しやすく、ほ場内の排水不良箇所から発生・拡大することが多病害です。

ほ場内で滞水することがないように、ほ場条件の良い今のうちに、明渠の整備溝切りを行い、排水路を確保しておきましょう。

また、発生暦のあるほ場では早めに予防防除を行うとともに、連続した降雨が予想される場合は、降雨前の防除を行うようにしましょう。

【防除薬剤例】（登録内容は R1.6.10 現在）

| 薬剤名 | 系統 | 効果 | 希釈倍率 | 使用時期 | 使用回数 |
|------------|-----------|-----|--------------|--------|------|
| ランマンフロアブル | Qil | 予 | 1,000～2,000倍 | 収穫7日前 | 3回以内 |
| プロポーズ顆粒水和剤 | 酸アミド・他合成 | 予・治 | 1,000倍 | 収穫21日前 | 2回以内 |
| リドミルゴールドMZ | 有機硫黄・酸アミド | 予・治 | 500倍 | 収穫45日前 | 3回以内 |